

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジーダット

コード番号 3841 URL <http://www.iedat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 河内 一往

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 伊藤 俊彦

TEL 03-5847-0312

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	681	18.8	37	—	47	—	48	—
25年3月期第2四半期	573	△15.4	△74	—	△25	—	△28	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 44百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △31百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	25.50	—
25年3月期第2四半期	△14.70	—

(注) 当社は平成25年4月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,649	2,281	84.3
25年3月期	2,454	2,190	89.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,232百万円 25年3月期 2,190百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年4月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,350	12.5	30	—	34	87.1	28	103.5	14.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 愛績受(上海)信息科技有限公司、除外 1社 (社名) 株式会社ジーダット・イノベーション
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	1,950,000 株	25年3月期	1,950,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	30,000 株	25年3月期	30,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	1,920,000 株	25年3月期2Q	1,920,000 株

(注)当社は平成25年4月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における、当社企業グループの主要顧客である、国内半導体・FPD (Flat Panel Display) 等の電子部品業界におきましては、従来から好調である自動車ならびにスマートフォン関連以外の分野でも、一部で在庫の縮小や収益の改善等、業績回復の兆しが徐々に散見されるようになってきました。しかしながら業界全体の傾向としては、業界再編およびリストラを断行中であり業績回復の途上にあるため、先行き不透明な状況が続いています。

こういった状況の中、当社企業グループは、国内市場において、好調な分野であるパワー半導体、イメージセンサ、タッチパネル、高精細FPD等に向けた設計支援・解析ツールをメインに営業活動を展開し、また自動車業界向けを中心としたソリューション・ビジネスを立上げて順調に業績に貢献しました。海外におきましても、国際的展示会への出展および販売子会社の設立等を行い、積極的な活動を実施しました。

これらの活動の結果、前連結会計年度から継続していた商談をいくつか獲得したことに加え、海外においても大型商談を獲得したことにより、当第2四半期連結累計期間におきましては、当初の計画を上回る業績となりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期と比較して1億7百万円(18.8%)増加して6億81百万円となりました。営業利益は固定費圧縮および自社製品売上増の効果により37百万円(前年同四半期は営業損失74百万円)となり、NEDOからの助成金等を計上した結果、経常利益は47百万円(前年同四半期は経常損失25百万円)、四半期純利益は48百万円(前年同四半期は四半期純損失28百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 当第2四半期連結会計期間の総資産、負債、純資産の概況

総資産は、前連結会計年度と比較して1億94百万円(7.9%)増加し26億49百万円となりました。内訳として、流動資産は70百万円(3.2%)減少し21億27百万円、固定資産は2億64百万円(103.0%)増加し5億21百万円となりました。流動資産が減少した主な要因は、現金及び預金が1億3百万円(5.2%)減少し18億80百万円となり、受取手形及び売掛金が71百万円(41.9%)減少し99百万円となった一方、電子記録債権が50百万円となり、たな卸資産が7百万円(217.9%)増加し11百万円となったことによるものであります。固定資産が増加した主な要因は、無形固定資産が3百万円(38.4%)減少して5百万円になったものの、投資有価証券が2億61百万円(130.8%)増加して4億61百万円になったことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度と比較して1億3百万円(39.2%)増加し3億67百万円となりました。流動負債が増加した主な要因は、前受金が94百万円(86.5%)増加し2億3百万円となり、賞与引当金が28百万円(50.8%)増加し85百万円となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度と比較して90百万円(4.2%)増加し22億81百万円となりました。純資産が増加した主な要因は、少数株主持分の増加49百万円及び、四半期純利益48百万円によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度の89.2%から84.3%となりました。

② 当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度と比べ1億3百万円減少し9億80百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は前年同四半期比で1億27百万円（50.6%）減少し、1億24百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が47百万円、前受金の増加が94百万円となったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億75百万円（前年同四半期は93百万円の収入）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出を2億89百万円計上したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は前年同期比で1億43百万円（75.6%）減少し、46百万円となりました。主な要因は、少数株主からの払込みによる収入56百万円があった一方で、配当金の支払額が9百万円あったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境ならびに国内電子部品業界の動向が引続き不透明であり、これによる業績変動の予測が困難であることから、平成25年5月10日に公表しました平成26年3月期の連結業績予想から変更いたしておりません。なお当資料に記載の業績見通しにつきましては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業グループの事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合がありますことをご承知おき願います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、当社は特定子会社である愛績旻(上海)信息科技有限公司を設立したため、同社を連結の範囲に含めております。

なお、平成25年4月1日付で、完全子会社である株式会社ジーダット・イノベーションは、当社との合併により消滅したため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,984,213	1,880,842
受取手形及び売掛金	171,197	99,534
電子記録債権	—	50,482
たな卸資産	3,644	11,586
その他	38,891	85,300
流動資産合計	2,197,946	2,127,746
固定資産		
有形固定資産	21,831	29,179
無形固定資産	9,237	5,689
投資その他の資産		
投資有価証券	200,000	461,555
その他	25,928	25,208
投資その他の資産合計	225,928	486,764
固定資産合計	256,998	521,633
資産合計	2,454,944	2,649,380
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,971	11,738
未払法人税等	6,490	5,909
賞与引当金	56,544	85,271
前受金	108,895	203,045
その他	72,116	61,561
流動負債合計	264,018	367,526
負債合計	264,018	367,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	760,007	760,007
資本剰余金	890,558	890,558
利益剰余金	565,364	604,728
自己株式	△32,676	△32,676
株主資本合計	2,183,253	2,222,616
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△186
為替換算調整勘定	7,672	10,317
その他の包括利益累計額合計	7,672	10,130
少数株主持分	—	49,106
純資産合計	2,190,925	2,281,853
負債純資産合計	2,454,944	2,649,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	573,991	681,861
売上原価	111,903	129,274
売上総利益	462,087	552,586
販売費及び一般管理費		
役員報酬	19,200	18,333
給料及び手当	135,431	146,653
賞与引当金繰入額	16,676	47,326
研究開発費	231,304	159,889
その他	133,537	142,944
販売費及び一般管理費合計	536,150	515,147
営業利益又は営業損失(△)	△74,063	37,439
営業外収益		
受取利息	1,457	3,192
助成金収入	46,851	13,394
その他	1,357	903
営業外収益合計	49,666	17,490
営業外費用		
支払利息	588	—
為替差損	735	6,093
創立費	—	1,659
その他	—	34
営業外費用合計	1,324	7,788
経常利益又は経常損失(△)	△25,721	47,141
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△25,721	47,141
法人税、住民税及び事業税	2,509	3,293
法人税等合計	2,509	3,293
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△28,230	43,848
少数株主損失(△)	—	△5,114
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△28,230	48,963

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△28,230	43,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△186
為替換算調整勘定	△3,215	859
その他の包括利益合計	△3,215	672
四半期包括利益	△31,446	44,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△31,446	51,421
少数株主に係る四半期包括利益	—	△6,900

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△25,721	47,141
減価償却費	9,929	9,810
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△800	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△265	28,727
受取利息	△1,457	△3,192
支払利息	588	—
売上債権の増減額(△は増加)	120,819	21,180
たな卸資産の増減額(△は増加)	502	△7,941
前渡金の増減額(△は増加)	△3,327	△45,014
仕入債務の増減額(△は減少)	9,062	△8,233
前受金の増減額(△は減少)	143,885	94,149
その他	2,353	△10,137
小計	255,569	126,490
利息の受取額	1,246	2,473
利息の支払額	△588	—
法人税等の支払額	△3,782	△4,219
営業活動によるキャッシュ・フロー	252,445	124,744
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△900,000	△900,000
定期預金の払戻による収入	900,000	900,000
有形固定資産の取得による支出	△1,679	△12,335
無形固定資産の取得による支出	△1,750	△136
投資有価証券の取得による支出	—	△289,611
投資有価証券の売却による収入	—	27,869
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
その他	△3,497	△1,166
投資活動によるキャッシュ・フロー	93,073	△275,380
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	—
配当金の支払額	△9,600	△9,600
少数株主からの払込みによる収入	—	56,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	190,400	46,406
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,215	859
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	532,702	△103,370
現金及び現金同等物の期首残高	1,069,746	1,084,213
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,602,449	980,842

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。